



ROUND1 GRAND CHAMPIONSHIP BOWLING JAPAN 2019 JPBA決勝大会

10月25～26日
ラウンドワンスタジアム堺中央環状店

女子レギュラー優勝の姫路麗は通算V20
男子レギュラーは渡邊雄也が7年目の初V



▲開幕戦で19勝目を挙げてから足踏みが続いたが「あまりに勝ちたい気持ちが出過ぎてしまった。今回は最後までレーンと向き合っていた。いいボウリングができた。10フレの⑩ピンズヘアは、19年間のすべてを出し切った投でした」



▲これまで2度優勝決定戦で敗れていたが「場慣れというか、それが経験値となって、今日は落ち着いて周りを見ながら勝負ができた」と、3度目の正直で7年目の初タイトルを獲得した渡邊

従来のラウンドワンカップから大幅にレギュレーションを変更して昨年から新たにスタートした本大会だが、今年も1月から9月まで、12会場で行われた選抜大会をクリアした選手が集結して、男女それぞれレギュラー、シニア、グランドシニアの3部門に分かれ熱戦を繰り広げた。男子レギュラー部門で、渡邊雄也がデビュー7年目で初タイトルを獲得すれば、女子レギュラー部門では、姫路麗がついに永久シードとなる通算20勝目を挙げた。(主催：(公社)日本プロボウリング協会 特別協賛：(株)ラウンドワン)



▲ブルツクリンのラッキーなストライクもあって、一度は追いついた三浦だったが…

男子グランドシニア部門

斉藤正典と星野宏幸の優勝決定戦は、1フレからストライククラッシュをかける斉藤を、星野も2フレからターキーで追いかけたが、6フレまで6連発の斉藤が、233：201と快勝。昨年準Vのリベンジを果たし、21年ぶりの11勝目を挙げた。

女子グランドシニアの部

時本美津子と山本由美子の7期生対決となった優勝決定戦は、前半は互角だったが、山本は8フレ③⑥⑦⑩のスプリットが命取りとなって、時本が182：170で制した。時本にとって、2014年のプリンスカップ以来の34個目のタイトルだった。

男子レギュラー部門

優勝決定戦は、渡邊雄也と笹田泰裕のともに52期で、ノンタイトルの二人の対戦。渡邊が準決勝で日置秀一を下せば、予選をBシフト1位通過の笹田は、準々決勝で川添奨太、準決勝は同期の谷合貴志を下して勝ち上がってきた。その対戦は、渡邊が3フレからフォースに対し、6フレ④⑥⑦のスプリットでオープンを作った笹田は、7フレから初のダブルもあとが続き、渡邊が229：188で制して初タイトルを手にした。

優勝決定戦に勝ち上がった。反対のゾーンからは、三浦美里が準決勝はBゾーン予選1位で同期の寺下智香を、ストレートで下して優勝決定戦に進んだ。前半3マークビハインドの三浦が5フレからのフォースで並びかけ、まったくの同ピンで10フレ勝負へ。その1投目はともに⑩ピンを残す9本カウント。先投げの三浦が痛恨のミスに対し、姫路はきっちりカバーして、この時点で優勝が決定、そして永久シードの通算20勝に到達した。

の戦いとなった。中盤までリードの岡野が、8フレ③⑥⑩をスペアミスでピン差となったが、岡野は9フレのストライクをダブルへつなげて202：189と振り切り、悲願の初タイトルを獲得した。

女子シニア部門

近藤文美と松井八知栄の対戦となった優勝決定戦は、互いに一歩も譲らぬ好ゲームとなった。1マーク差を追いかける近藤が、9フレのファウンデーションをターキーへつなげて、219：215と4ピン逆転して、10年ぶりの15勝目を挙げた。



▲左からグランドシニア優勝・斉藤、シニア優勝・岡野、レギュラー優勝・渡邊、グランドシニア2位・星野、シニア2位・西川、レギュラー2位・笹田



▲左からグランドシニア優勝・時本、シニア優勝・近藤、レギュラー優勝・姫路、グランドシニア2位・山本、シニア2位・松井、レギュラー2位・三浦



▲強敵を倒して優勝決定戦までこぎつけた笹田だが、同期の渡邊に敗れ準V

女子レギュラー部門

予選をAシフトトップ通過の姫路は、準決勝で浅田梨奈を2-0で下すなど、盤石の内容で

●レギュラー部門 優勝決定戦

<女子>

姫路 麗	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	29	49	69	98	118	138	158	176	195	215
三浦 美里	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	8	⑩	1	9	9	9	9	9	9	-
	18	27	47	67	97	127	156	176	195	204

●シニア部門 優勝決定戦

近藤 文美	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	20	40	60	80	100	120	140	160	190	219
松井 八知栄	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	20	40	60	80	109	129	149	169	189	215

●グランドシニア部門 優勝決定戦

時本 美津子	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	9	⑦	2	8	9	9	9	9	9	9
	17	26	45	64	83	103	123	143	163	182
山本 由美子	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	7	9	9	⑧	1	9	6	9	9	8
	20	40	58	67	87	107	123	132	152	170

●レギュラー部門 優勝決定戦

<男子>

渡邊 雄也	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	20	40	70	100	129	149	169	189	209	229
笹田 泰裕	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	9	9	9	9	8	⑦	2	9	8	8
	19	39	59	77	94	103	132	152	170	188

●シニア部門 優勝決定戦

西川 徹	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	20	40	60	76	84	104	124	150	170	189
岡野 秀幸	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	8	20	50	78	97	106	126	145	154	182

●グランドシニア部門 優勝決定戦

斉藤 正典	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	30	60	90	120	149	169	188	207	224	233
星野 宏幸	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
	20	50	79	99	119	139	157	174	182	201